科目名	救急救護政策・行政特論	分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位

担当教員	◎教授　國府田洋明　　教授　大滝恭弘　　教授 茂呂浩光　　講師　高梨利満 講師　高山　祐輔　　教授(特)　鈴川正之					科目ナンバー	T5C105
課程	修士	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義

授業の概要	社会及び医療行政の動向など病院前救急救護体制の社会的ニーズの分析と対応する政策・行政能力を涵養するため、増大する救急需要対策、救急車適正利用、最新科学技術の導入、医療機関の受入れネットワークの構築、通報・現場トリアージ、効果的な救急搬送体制のあり方などを企画・立案できる能力を開発する。また、病院前救急救護活動の医療・救護事故・訴訟、個人情報の管理、活動中のトラブルなどの危機管理、医療福祉行政・医師会・MCなど関係機関との連携、ドクターカー・ヘリ・DMATとの連携対策等の業務運営管理のあり方を探求し、危機管理・業務運営能力の向上に必要な要素、手法を学修する。
授業の到達目標	①我が国の救急搬送体制、救急医療体制の課題及び問題点を整理して説明できる。 ②地域特性に対応した新たな病院前救急救護体制つくりの仕法を説明できる。 ③病院前救急救護体制の危機管理・業務運営管理の課題解決の様々な方法について説明できる。

授業計画

回数	担当者		行動目標
1	國府田洋明	教　授	病院前救急救護政策・行政の経緯。 我が国の病院前救急救護体制の歴史的変遷について説明できる。
2	國府田洋明	教　授	我が国の病院前救急救護体制政策の特徴と現状1について説明できる。
3	茂呂　浩光	教　授	我が国の病院前救急救護体制政策の特徴と現状2について説明できる。
4	國府田洋明	教　授	社会及び医療行政の動向と救急搬送体制の現状と課題1について説明できる。
5	高梨　利満	講　師	医療体制と救急搬送体制の現状と課題2について説明できる。
6	高梨　利満	講　師	福祉体制と救急搬送体制の現状と課題3について説明できる。
7	高山　祐輔	講　師	将来の病院前救急救護体制のあり方について、その方策1を説明できる。
8	高山　祐輔	講　師	将来の病院前救急救護体制のあり方について、その方策2を説明できる。
9	鈴川　正之	教授(特)	効率的なメディカルコントロールのあり方1について説明できる。
10	鈴川　正之	教授(特)	効率的なメディカルコントロールのあり方2について説明できる。
11	大滝　恭弘	教　授	病院前救急救護活動の法的判断について説明できる。
12	大滝　恭弘	教　授	病院前救急救護活動の医療・救護事故・訴訟などの危機管理のあり方について説明できる。
13	大滝　恭弘	教　授	病院前救急救護活動の個人情報の管理、活動中のトラブルなどの業務運営管理のあり方について説明できる。
14	國府田洋明	教　授	病院前救急救護活動と連携する機関とのあり方について説明できる。
15	國府田洋明	教　授	講義の振り返り

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	ガイダンスで指示する資料の収集とその内容を理解しておく。次回の授業内容を予習し、用語の意味などを理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	随時　指示する。
参考書	随時　指示する。
成績評価の方法および基準	口頭発表50%、レポート50%
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。